



がいろん
しまむに 概論
Lesson 2

ちい き さ

しまむにの地域差



あまみしょう

奄美諸島には、昔から「水がちがえば、言葉がちがう」ということわざがあります。その言

葉の通り、しまむにもシマ^{あざ}（字・集落）ごとに色々な地域差^{ちい き さ}があります。この教材でも、できるだけ多くの方言を取り上げようとしています、すべての方言がカバーできているわけはありません。しまむにを学ぶ時には、ぜひ「自分の集落^{シマ}ではなんというのだろう？」ということに気をかけてみてください。

しまむにの地域差^{ちい き さ}には、大きく分けて、①音の地域差^{ちい き さ}、②文法の地域差^{ちい き さ}、③語彙の地域差^{ちい き さ}、④アクセントやイントネーションの地域差^{ちい き さ}があります。

ちい き さ

1. 音の地域差

しまむにの一番の地域差^{ちい き さ}は「わきや・わちゃの^{ちが}違い」が有名です。「わきや・わちゃ」の地域差^{ちい き さ}とは、(1)のように「き・きや」という音を使うのか、同じところを(2)のように「ち・ちゃ」と発音^{ちが}するのか、という違いです。

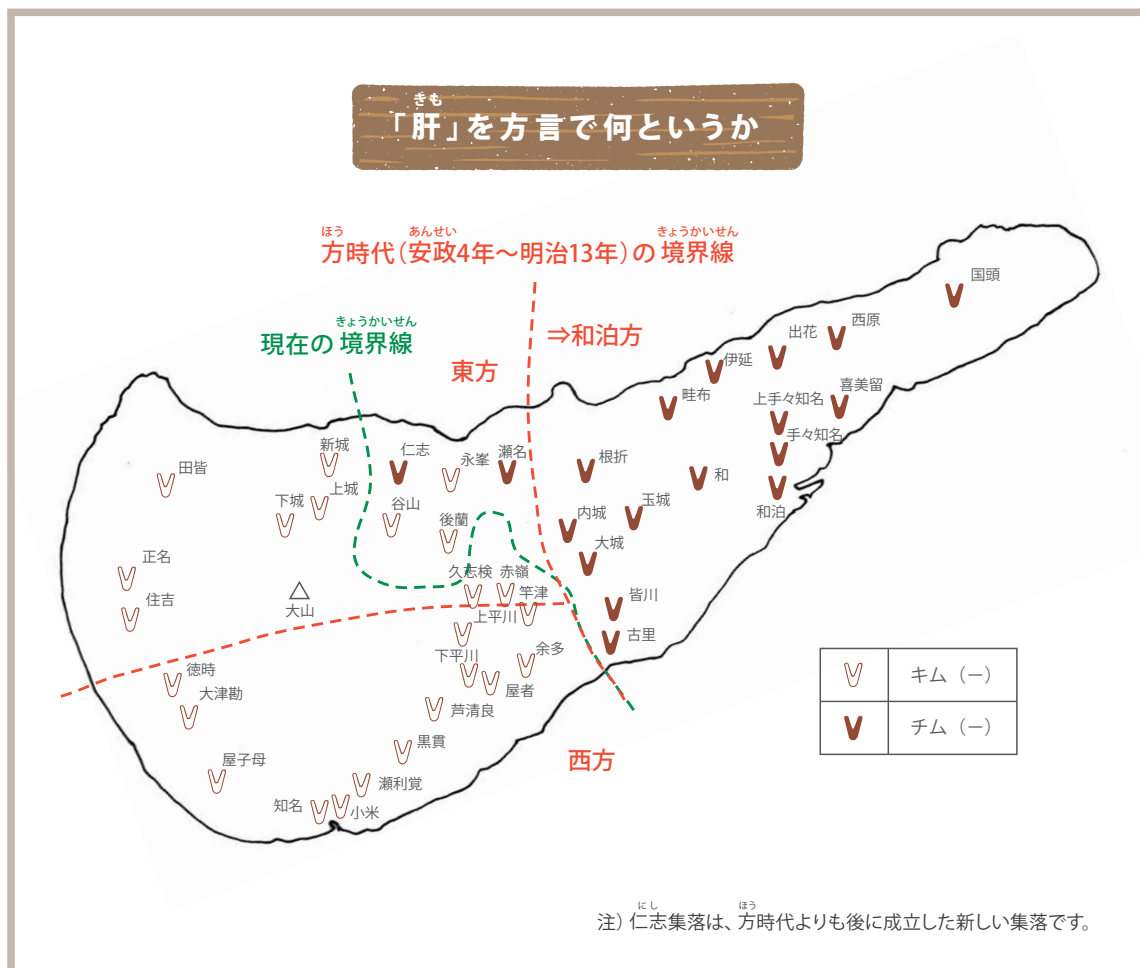
(1) わきや^{わたし} 「私」 / きばら^{ちが} 「着物」 …… 田皆集落

(2) わちゃ^{わたし} 「私」 / ちばら^{ちが} 「着物」 …… 国頭集落

言語^{いっばんてき}の一般的な変化から考えると、「き・きや」の方が古い音で、「ち・ちゃ」はそこから変化した音だと考えられています。沖永良部島の面白いところは、この「き・きや」を使う方言と、「ち・ちゃ」を使う方言が、島のほぼ真ん中で2つに分かれていることです。



下の図は「肝」という単語をどのように発音するかを、42集落で調査したものです（奥間・真田1983をもとに作った地図です）。この地図をみると、島の西側では「肝」のことを「キム」というのに対し、島の東側では「チム」ということが分かります。面白いのは、その境界線が今の町の境界というよりも、方時代（安政4年～明治13年）の境界線に近いことです。こうした方言区画には、水系（西側は大山水系、東側は越山水系）による生活圏の違いが関わっているという説があります。



【引用文献】奥間透・真田信治 (1983) 「沖永良部島における口蓋化音の分布域」『琉球の方言』8:145-166. 法政大学沖縄文化研究所

2. 文法の地域差

実は^{ちいきさ}文法にも^{ちいきさ}地域差があります。しまむにを^{どうし}動詞の変化の仕方で分けると、最西部の^{ちいき}地域（イーシマ）と、それ以外の^{ちいき}地域に分かれます。

島の多くの^{ちいき}地域では「笑う」を「ワロユン」と言いますが、イーシマでは「ワロイム」とか「ワロイ」と言います。^{どうし}動詞の基本の形にも^{ちいきさ}地域差があるということです。



【参考文献】上野善道 (1997) 「沖永良部島諸方言の用言のアクセント資料」『アジア・アフリカ文法研究』26: 123-233.
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

3. 語彙の地域差

音や活用が規則的に変わる「音の地域差」、「文法の地域差」のほかに、単語の形が違う

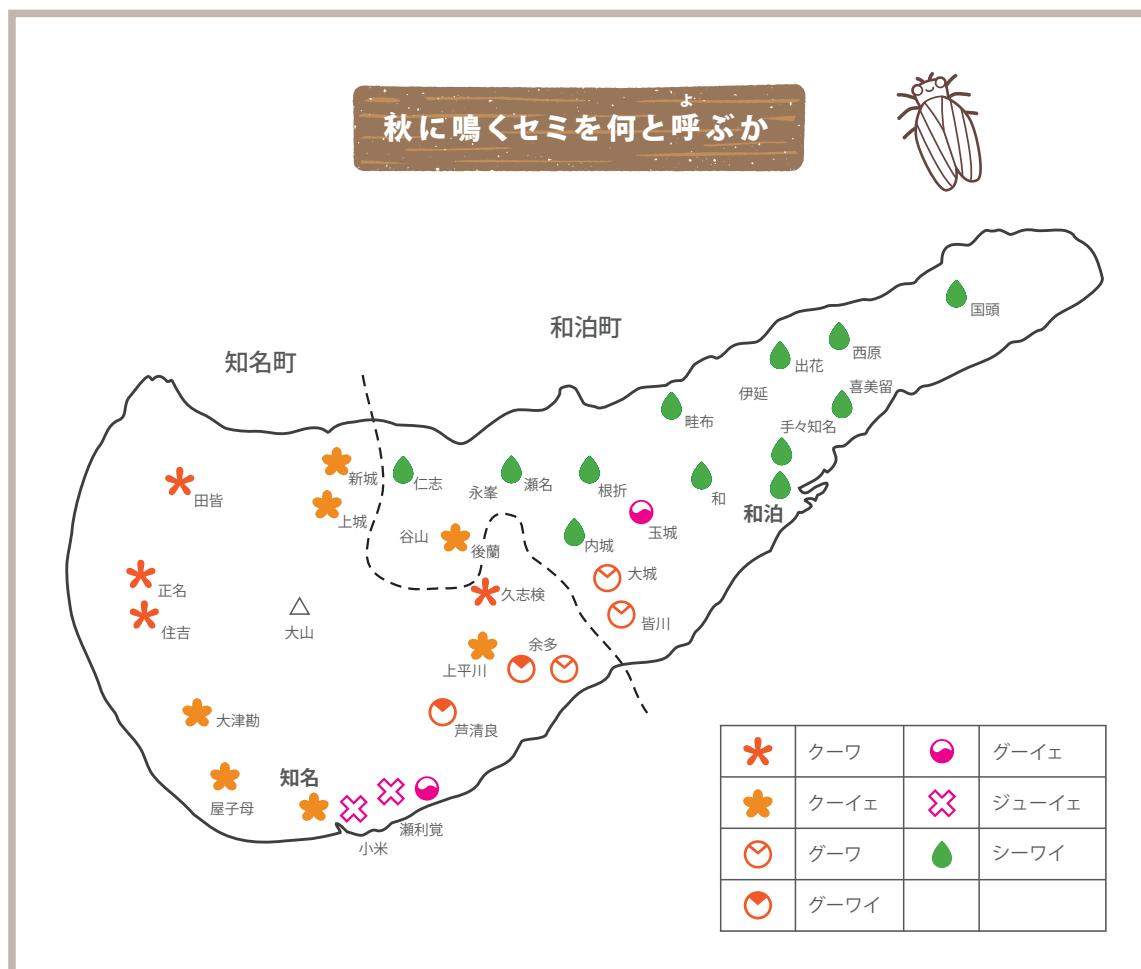
「語彙の地域差」があります。特に、虫や小さな生き物の名前には、地域差がよく表れます。

下の図は、秋に鳴くセミ(クロイワツクツク)を、それぞれの集落で何と呼ぶかを表した図です。和泊町では広く「シーワイ」と呼ぶのに対して、知名町では「クーワ」「クーイエ」「ゲーワイ」

などいろいろな言い方をしていることが分かります。これは、セミの鳴き声をなんと聞か?

という「聞き方」の違いです。音の「聞き方」が違うというのも面白いですね。まだ調べられ

ていない集落もあるので、ぜひみなさんの集落ではなんというのか、聞いてみてください。



4. アクセントやイントネーションの地域差^{ち い き さ}

「アクセント」とは、単語をいうときの音の上がり下がり、「イントネーション」とは、文をいうときの音の上がり下がり^{ち い き さ}をさします。この「アクセント・イントネーション」は地域差が一番^{まさなぶし}でるところで、方言を話す人は「あれは正名節（正名集落のアクセント）だ」とか、「あれは喜美留^{きびる}の人だね」とか、発音を聞くだけでどこの集落の人が言い当ててしまいます。そんな豊かな地域差^{ち い き さ}のあるアクセント・イントネーションですが、多くの集落^{シマ}のアクセントは、まだその体系^{たいけい}が解明^{かいめい}されていません。

まずは色々^{たんご}な単語や文を、集落^{シマ}の人から聞いて、真似^{まね}してみること、だんだんとその地の節^{ふし}を身につけていきましょう。

練習問題

それぞれの単語を、自分の集落ではなんというか聞いてみましょう。

① ねずみ



()

② かえる



()

③ ヤモリ



()

④ セミ（春・夏・秋）



春（ニイニゼミ）

()

夏（クマゼミ）

()

秋（クロイワツクツク）

()

⑤ とんぼ



()